

ディスカバリーズ、パナソニックグループ約8万人の生成 AI 活用定着をコミュニティ運営・情報発信で支援

— 一月間約29万時間の業務効率化を推進する PX プロジェクトの取り組み事例を公開 —

Panasonic

×

 DISCOVERIES

ディスカバリーズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：島田祐一郎、以下、ディスカバリーズ）は、パナソニック オペレーションズ株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長：玉置肇、以下、PEX）が推進するパナソニックグループの業務変革プロジェクト「Panasonic Transformation（以下、PX）」において、生成AI活用の定着に向けたコミュニティ運営やコンテンツ企画、情報発信施策の支援を行い、このたびその取り組み事例を公開したことをお知らせします。

本プロジェクトでは、利用者全体約8万人で月間約29万時間の業務効率化につながっています。

本事例では、その取り組みの一部として、ディスカバリーズが支援したコミュニティ運営や情報発信施策について紹介しています。

生成 AI 導入から活用定着へ—多くの企業が直面する課題

生成 AI の導入を進める企業が増える一方で、導入後の活用が一部の利用者に留まり、継続的な業務利用につながらないという課題が顕在化しています。生成 AI を業務変革につなげるには、ツールの提供だけでなく、利用者が実践事例を学び、組織内で知見を共有し続ける仕組みづくりが重要です。

パナソニックグループでは、業務変革プロジェクト「PX」を推進する中で、生成 AI は変革を支える取り組みの一つとして位置付け、全社での活用定着を進めてきました。

一方で、全従業員が利用できる環境を整備するだけでは活用の定着は進みません。継続的な情報発信や学習機会の提供、利用者同士が知見を共有できる場づくりなど、活用を組織全体へ広げるための取り組み

みが求められていました。

AI 活用の浸透を支えるコミュニティと情報発信

こうした課題に対し、ディスカバリーズは生成 AI 活用の定着に向けて、コミュニティ運営・情報発信・チェンジマネジメントを組み合わせた以下の取り組み支援を行いました。利用者が学び、試し、共有する循環を継続的に生み出すこと、一過性の導入施策に留めず、日常業務に根づかせることを目指しました。

1. オンライン・コミュニティの企画・運営

- 社内の利用者同士が生成 AI の活用事例やノウハウを共有できるように Microsoft Teams（以下、Teams）上で AI コミュニティの運営を支援
- 一方通行の情報提供にとどまらず、利用者同士が自律的に参加・交流できるコミュニティづくりを推進

2. 継続的な情報発信・コンテンツ企画

- 動画やコラムなどの学習コンテンツの企画・制作を通じて、生成 AI 活用促進に向けた情報発信を支援
- 定期的なミーティングを通じて施策の企画・改善を伴走し、AI 活用定着に向けた PDCA サイクルの運用を支援

3. 企業風土・業務特性を踏まえた伴走支援

- パナソニックグループの業務や風土、従業員特性を理解したうえで、画一的ではない施策やコンテンツを提案
- 隔日の状況確認ミーティングや週次定例会議を通じて、プロジェクトメンバーの一員として密接な連携体制を構築

特に、Teams を活用した AI コミュニティでは、利用者同士が活用事例や活用方法を共有できる環境を整備しており、社員が知識や経験を持ち寄りながら学び合う場として活用されています。



Teams での AI コミュニティ運営イメージ

ディスカバリーズは、こうしたコミュニティ運営やコンテンツ企画・制作、情報発信施策の設計・改善を支援。パナソニックグループの企業風土や事業特性を理解したうえで伴走し、AI 活用定着に向けた継続的な活動を支援しています。

全社規模で広がる AI 活用と学び合いの文化

こうした取り組みにより、「PX-AI」は現在、パナソニックグループ内で約8万人が利用する生成 AI プラットフォームへと成長しました。利用者アンケートでは、1人あたり月間約7.5時間の業務時間削減効果が報告されており、利用者全体では月間約29万時間の業務効率化につながっています。

また、AI 活用に関するコミュニティには延べ3.1万人が参加しており、活用事例の共有や質問・相談が日常的に行われています。コミュニティは利用者同士の交流の場としても機能し、生成 AI 活用の継続利用を支える基盤の一つとなっています。

これらの結果は、生成 AI の利用環境整備に加え、学習コンテンツの提供や継続的な情報発信、コミュニティ運営などを通じて、活用を組織全体へ広げる取り組みを進めてきたことによるものです。

お客様からは、以下のようなお声をいただいています。

「一般的な施策をそのまま持ってくるのではなく、パナソニックグループという会社の業務や風土、従業員の性質を理解したうえで提案してくれるのがあるがたいですね。PX による行動変容を目指す当社にとって、カスタマーサクセスの分野に強みを持つディスカバリーズの支援はとても頼もしいです。」
パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社 デジタル戦略本部 ビジネスエンゲージメント部
イノベーション共創課 エキスパート 小畠 久輝氏

AI 活用から事業価値創出のステージへ

パナソニックグループでは今後、AI 活用のさらなる拡大に加え、業務効率化に留まらない新たな価値創出や事業変革への活用を目指していきます。

ディスカバリーズは今後も、PEX の取り組みを支えるパートナーとして、生成 AI 活用の定着と価値創出を一貫して支援していきます。



パナソニックグループ約8万人が利用する生成AI基盤「PX-AI」の活用定着に向けて、PEX がどのような取り組みを進め、ディスカバリーズがどのように支援したのかを、事例記事で詳しく紹介しています。

事例の全文を読む

各種リンク先

活用から定着まで一気通貫でご支援する Copilot 伴走支援サービス

<https://discoveries.co.jp/consulting/copilot/>

ディスカバリーズ株式会社について

「働くすべての人たちがイノベーションをもたらす世界を創る」をミッションに、コミュニケーションやコラボレーションを再設計し、AIで組織のナレッジを人に繋げて新しい価値（＝イノベーション）を生みやすい組織変革を目指したAX（あらゆる業務にAIを組み込んだ組織のトランスフォーメーション）でお客様の成功を支援しています。

SaaS型クラウドサービスの開発・販売と、上場企業100社以上の実績を持つコンサルティング・サービスを提供。マイクロソフト認定ソリューションパートナー、2011年にマイクロソフト パートナー オブ ザ イヤーを受賞。

<https://discoveries.co.jp/>

お問い合わせ先

ディスカバリーズ株式会社 プロダクトビジネスグループ

E-mail：contact@discoveries.co.jp

※本リリースに記載されている会社名/製品名/サービス名は、当社または各社/各団体の商標もしくは登録商標です。

※ Microsoft、Microsoft Teams、Microsoft 365 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※リリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。

ディスカバリーズ株式会社のプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/25504

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

企業名：ディスカバリーズ株式会社 プロダクトビジネスグループ

担当者：際

TEL：03-6876-5102

E-mail: contact@discoveries.co.jp